

# 20 祝町制施行 周年記念

平成18年3月1日、菊水町と三加和町が合併し、和光町が誕生しました。

広報担当者が20年間撮りためた写真の中から、皆さんの輝く瞬間をピックアップして振り返ります。

## 20周年連載企画

## ～広報カメラが捉えた20年の記憶のアルバム～

今月は、和光町として発行した第1校の平成18年4月号の表紙の写真をご紹介します。表紙に登場したのは、和光町となり、第1号の出生届出となった蜻浦の松石涼さんです。和光町と一緒に誕生し、今年で20歳になりました。当時の広報紙には「よく泣く元気な男の子です」と書かれていました。



▲平成18年4月号と一緒に写る松石さん

### 松石 涼 さん(20) 蜻浦

－「自分が『和光町第1号』の出生届だと知ったとき、  
どう思いましたか？」

初めて出生届第1号の話聞いた時は、驚きました

－「20年前の自分の写真を見て、  
どんな気持ちになりましたか？」

友達や先輩には面影あるって言われるんですけど、自分だとよくわかりません。可愛いです

－「今、一番夢中になっていることや、  
頑張っていることは何ですか？」

頑張ってること、1番は仕事です。電気工事の仕事をしていますが、早く一人前になれるよう日々色々なことを経験しています

－「どんな大人(社会人)になりたいと考えていますか？」

人との繋がりや礼儀を大切にできる大人になっていければいいなと思います

－「和光町へのメッセージを一言お願いします」

和光町20周年おめでとうございます。和光町と年齢を共にできてとても嬉しいです。これからも町民の皆様が仲良く健康でいられるように願っております



▲1月4日に開催された20歳の式典  
1列目右から2番目が松石さん



▲今年の「20歳の式典」対象者の皆さんの懐かしい入学式の写真です。(平成24年 神尾小・平成30年 三加和中)